



町特産「千歳みそ」使ったハンバーグ 生徒が考案 市民太鼓判

千歳小中9年生

飲食店に売り込みへ

【豊後大野】地元特産「千歳みそ」を使った料理で地域活性化につなげようと、豊後大野市千歳町の千歳小中9年生15人がオリジナルハンバーグを考案した。市民らを対象にした試食会で高評価を得たことから、さらに磨き上げた後、町内の飲食店などに売り込むことを目指す。

生徒は総合的学習の一環で地域の魅力発見に取り組んでいる。昨年度はサウナでまちおこしをしている同市をPRしようと、修学旅行先の京都市などで手作りパンフレットを配布。入浴後に食べるオリジナルサウナ飯の研究もしてきた。千歳みそは地元産大豆と麦こうじ、塩だけで造る。無添加で市内外にファンが多いことから、みそをソースに使ったハンバーグ作りに挑戦。試作を繰り返し味がまろやかにいった（生徒）

「ため、ハンバーグのたねにも入れている。ソースはおいしいものも多くできて決めきれなかったため、舌の肥えた大人たちにはアドバイスをもらうことにした。」

今月上旬、試食会があり、川野文敏市長やまちおこしグループまちづくり千歳の会員ら12人が参加。生徒から説明を受けた後、▽甘口味噌▽味噌にこみ▽オリジナル▽和風ーの4種類のソースをかけて味見した。

「みそと玉ねぎの相性が抜群」「甘めなので子どもから大人までに好まれる」となどと甘口味噌が1番人気だった。「もう少しとろみがほしい」との意見もあったことから、さらに改良を重ね、町内の飲食店などにサウナ飯としての採用を提案する予定。

学級委員の広瀬夢華さん（14）と宮成華歩さん（15）は「たくさんアドバイスをもらえ、いい試食会になった。千歳名物として地域の素晴らしさを知ってもらおうツールに育てたい」と話した。

（山田志朗）



来賓に試食してもらったハンバーグを作る生徒。豊後大野市千歳町の千歳小中学校



試食をする参加者



〔問①〕千歳小中9年生が考案したハンバーグに使用した地元の特産は何ですか。

〔問②〕考案したハンバーグは、まちおこしに寄与しているあることの後に食べてもらうことを目指しています。何ですか。

〔問③〕あなたの地域の特産を使った料理を考えてみよう。アイデアを出してみよう。